



(第6図)

## (5) 飛騨國絵圖 東山道八箇國之内 (第6図)

年代 寛永10年以前作成

寸法 80×107

本紙 楮紙・12枚継紙貼合、墨書、彩色

装訂 折り畳み舗／原装、修理補強による裏打紙貼

裏表記 [飛騨國 東山道八箇國之内] 墨書

所蔵 東等寺冬任文庫

第6図は裏面右上に「飛騨國 東山道八箇國之内」と表題があり、東山道として近江国から美濃・飛騨・信濃・上野・下野・陸奥から出羽国へ至る八箇国・国絵図の内の飛騨国絵図である。

内容は飛騨国の主な街道・地名(村名)に限定されているのが大きな特徴である。これは単独の飛騨国絵図であれば情報内容は詳細になるが、東山道八箇国の内の1枚であるため簡略化されている。

中心の「高山」と同様、南より北に四角の枠に記された「古城」が表記される。

東山道八箇国図は『武家事紀』に所収されており、飛騨国は巻第四十三に収録されているが、同様に簡略化された記述となっている。(東等寺冬任文庫史料解説より)

※この絵図は寛永10年、幕府巡見使が全国を巡察した際に作成されたもの(第1～5図)と同じ絵図で、内容、記述、古城の囲み、隣国への行先内容などが一致する。各在所の名称は、第1図が漢字で書かれているのに比べ第6図はひらがなで書かれている在所が多い。

※掲載されている情報（文章、写真など）は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。